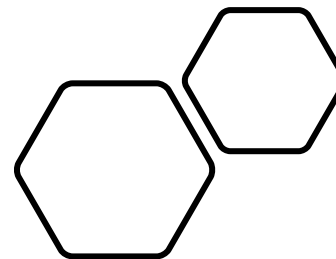


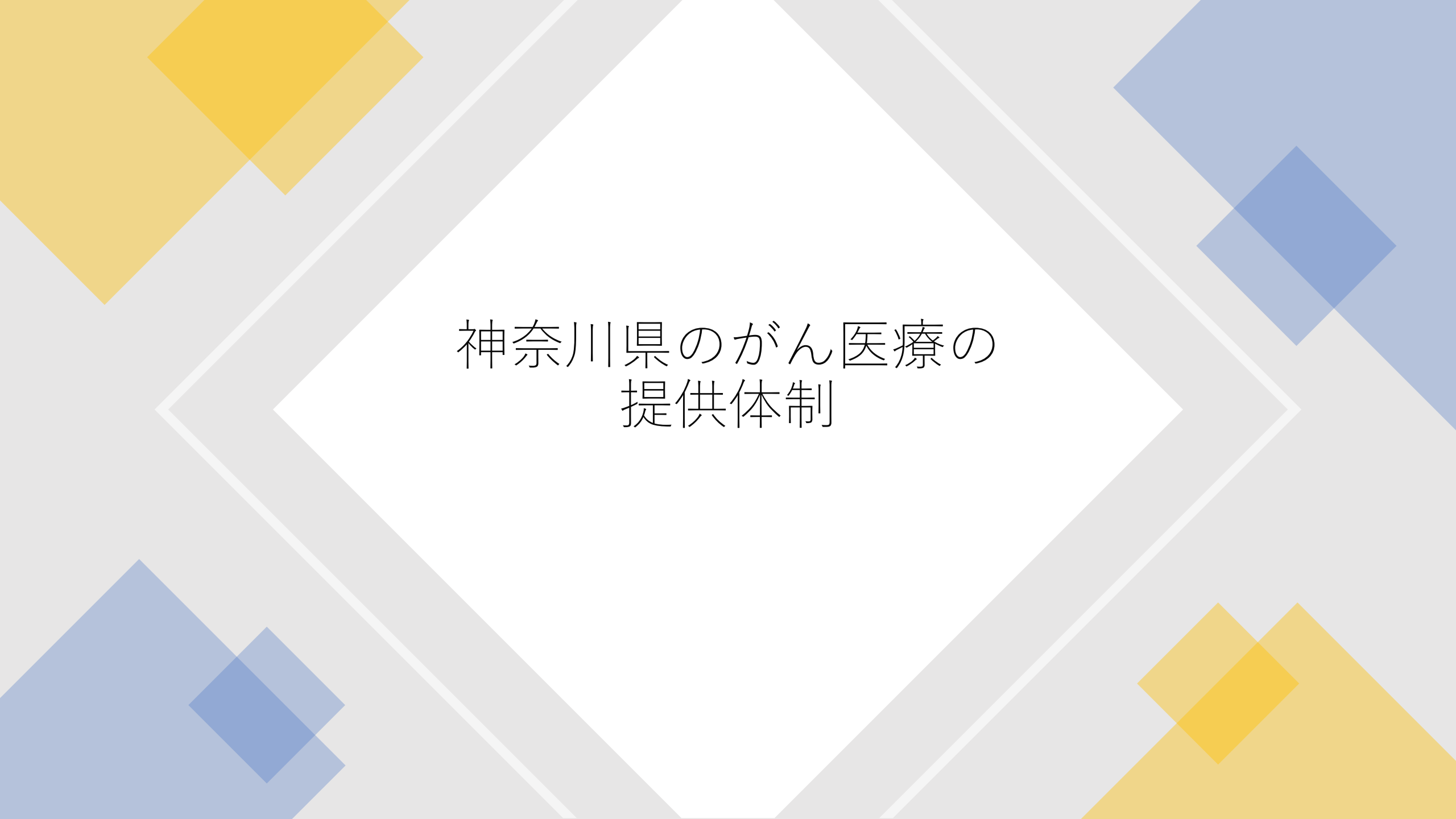
# 神奈川県における がん薬物療法 ピアレビュー

神奈川県がん診療連携協議会 がん薬物療法部会長  
神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科 部長  
酒井リカ

# 本日の ミッション



- 実際に準備して行動していけるように、具体的な動きや研修の中身が見える
- ピアレビューをどのように行っているのか、どのように参加しているのか、現場の感想が見える

The background features a light gray field with a large white diamond shape in the center. The diamond is outlined by a thin white border. In the four corners, there are overlapping geometric shapes: yellow squares in the top-left and bottom-right, and blue squares in the top-right and bottom-left. The squares are arranged in a way that they appear to be part of a larger grid or pattern.

# 神奈川県のがん医療の 提供体制

総人口 920万人  
(全国2位)

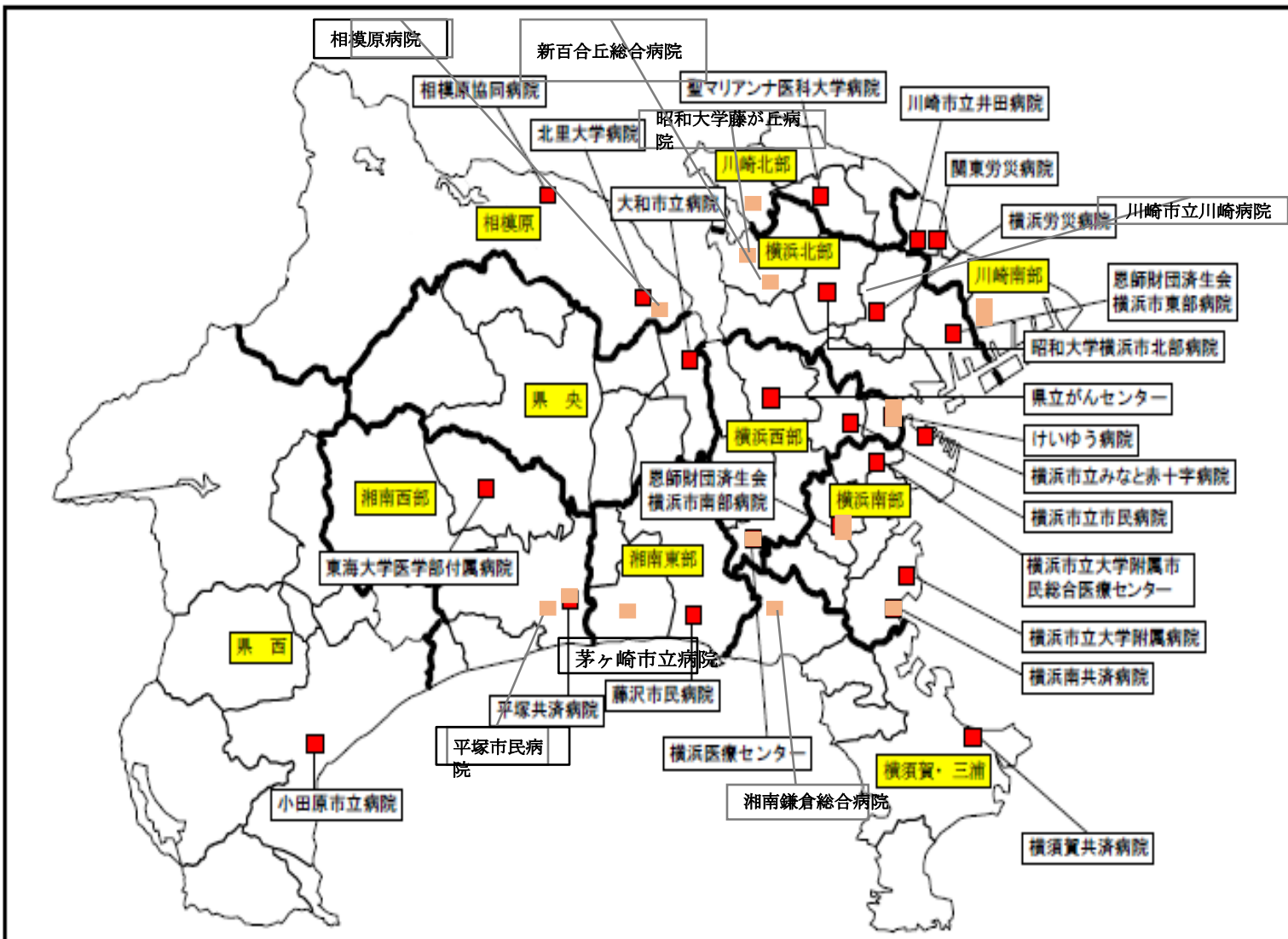
## 11の医療圏

都道府県がん診療連携拠点病院 1

地域がん診療連携拠点病院 17

県がん診療連携指定病院 12

計 30施設



神奈川県がん診療連携協議会

相談支援部会

院内がん登録部会

緩和ケア部会

地域連携  
クリティカルパス部会

がん薬物療法部会

2017年11月より活動開始

“ピアレビュー”

# がん薬物療法部会

## これまでの取り組みの概要

---



### 2017年度

体制づくり：構成員の  
選定、設置要綱、  
アンケート実施



### <構成員>

看護師・薬剤師・  
MSW・医師 計94名



### 2018年度～

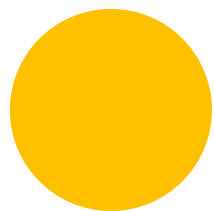
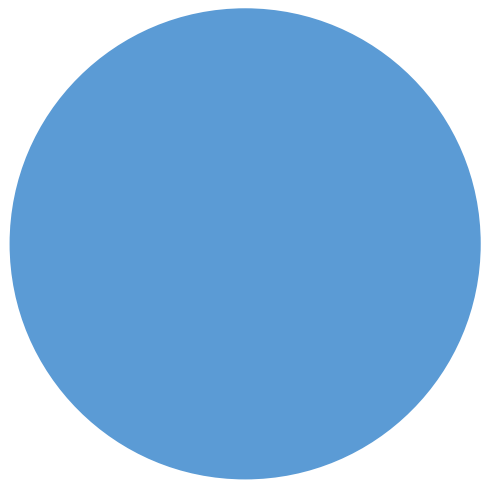
活動目標の共有  
<ピアレビュー>

活動開始

# 具体的な動き・研修の中身

運営の工夫

研修会開催



運営の工夫





# がん薬物療法ピアレビュー開催までの課題と対策

## <課題>

- 県内に**30**の拠点および指定施設があり、**実地調査方法には工夫が必要**。
  - **グループ化とリーダー施設指定**

## <2段階方式>

- **リーダー施設間ピアレビュー⇔ グループ内施設間ピアレビュー**
- がん薬物療法 ピアレビューの実績がない

⇔ **研修会開催**

# 第一段階

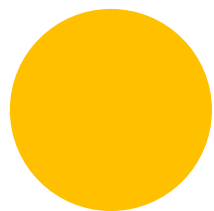
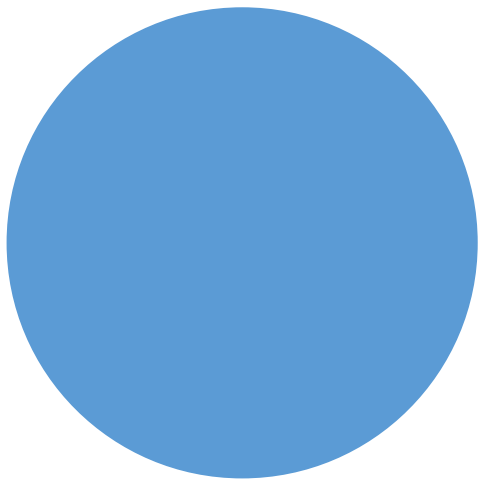
グループリーダー

診療連携拠点病院

診療連携指定病院

# 第二段階

	グループリーダー	診療連携拠点病院	診療連携指定病院
groupA	神奈川県立がんセンター (r1)	横浜労災病院 (r2)	昭和大学藤が丘病院 (s8)
		昭和大学横浜市北部病院 (r3)	
		済生会横浜市東部病院 (r16)	
groupB	横浜市立大学附属病院 (r5)	横須賀共済病院 (r9)	横浜南共済病院 (s1)
			湘南鎌倉総合病院 (s7)
			横浜医療センター (s4)
groupC	聖マリアンナ医科大学病院 (r7)	川崎市立井田病院 (r8)	川崎市立川崎病院 (s11)
		関東労災病院 (r18)	新百合ヶ丘総合病院 (s9)
groupD	東海大学医学部附属病院 (r11)	藤沢市民病院 (r10)	平塚共済病院 (s2)
		小田原市立病院 (r15)	平塚市民病院 (s6)
			茅ヶ崎市立病院
groupE	北里大学病院 (r14)	相模原協同病院 (r13)	国立病院機構相模原病院 (s10)
		大和市立病院 (r12)	
groupF	横浜市立大学附属市民総合医療センター (r17)	横浜市立みなと赤十字病院 (r6)	けいゆう病院 (s3)
		横浜市立市民病院 (r4)	済生会横浜市南部病院 (s5)



# 研修会開催

第1回 ピアレビュー研修

# 研修の目的

- ピアレビューを理解する
- ピアレビューを計画できる

- 日程調整
- ピアレビューのテーマに関し事前アンケート
- がん診療連携協議会事務局から施設の委員および施設長宛てに開催案内通知を郵送

## ピアレビュー研修

グループリーダー6施設含む11施設 計34名が参加  
約2時間で以下の内容の研修を行った

- 神奈川県がん診療連携協議会緩和ケア部会における取り組みについて、  
『ピアレビュー導入の概要』

神奈川県がん診療連携協議会会長 金森平和先生

- がん対策に関する今後の取り組みについて  
『がん対策とこれから求められるPDCAサイクルの確保』

国立がん研究センター がん対策情報センター 橋本浩伸先生

- 都道府県レベルで取り組むがん診療の質の向上に向けた取り組み  
— 実地訪問によるピアレビューを中心に —

国立がん研究センター がん対策情報センター 加藤雅志先生

職種別・施設別GW：ピアレビューのテーマについて話し合う

(配布資料)

- 事前アンケートより抽出したテーマの一覧
- がん薬物療法部会のピアレビューマニュアル

- 支援的なレビューをめざすことを共有
- 今後のロードマップを提示

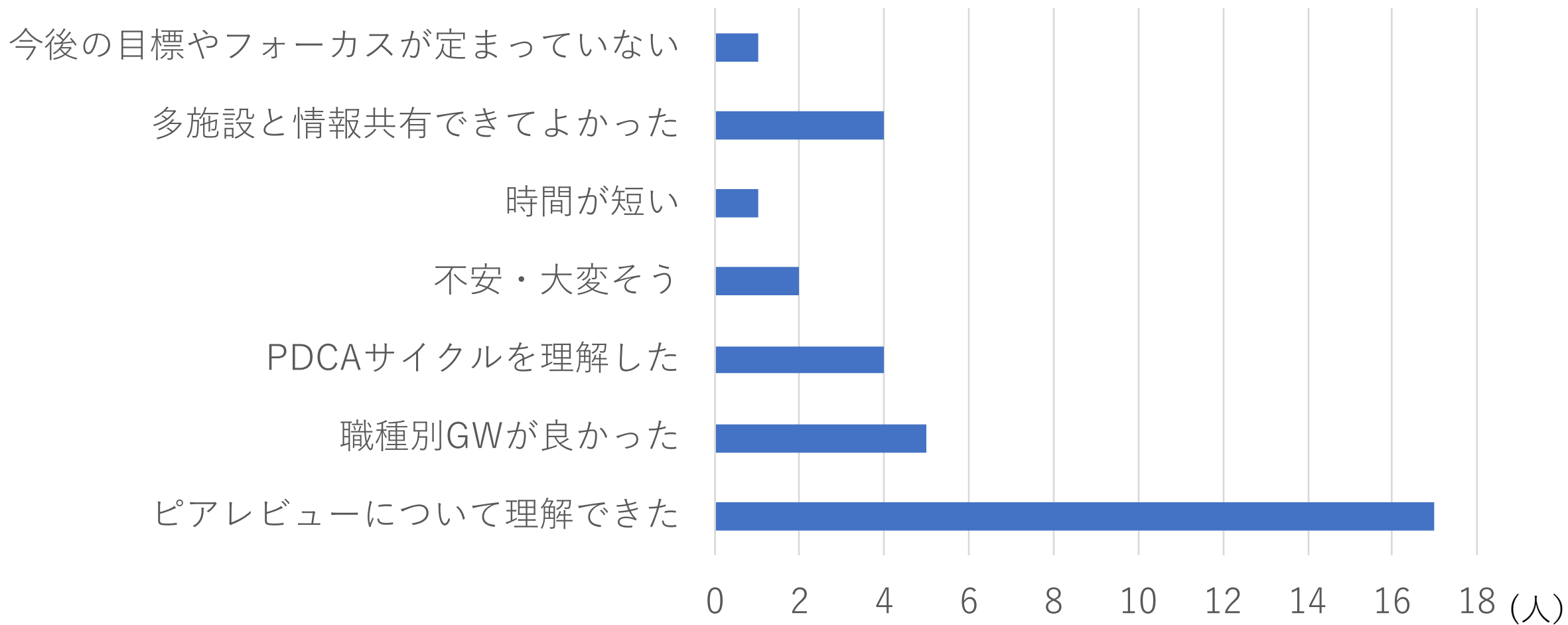
# <神奈川県がん薬物療法部会のピアレビュー>

困りごとの具体的な解決策をともに考え、  
より良い医療を提供できるようにするための

支援的なレビュー

# 第1回ピアレビュー研修 事後アンケート

(自由記載より抜粋)

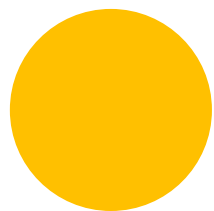
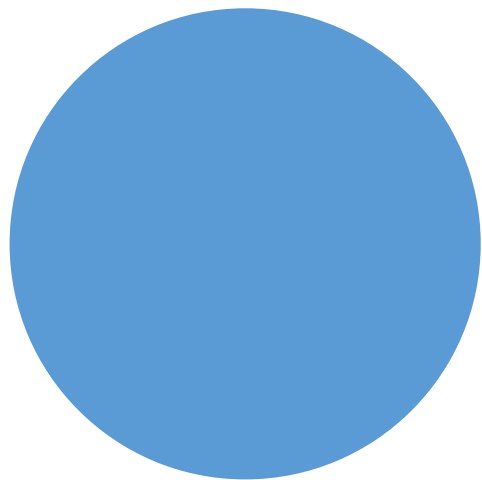


# ピアレビューの実際

第1回 ピアレビュー

第2回 以降





# 第1回ピアレビュー

- どのように行っているの
- どのように参加しているか
- 現場の感想

事前  
準備

# 第1回は今後の試金石となるため、受け手施設は当院 残りの全リーダー施設がレビューアーとして参加

- 日程調整  
グループリーダー施設  
病院管理職（病院長、看護局長等）  
国立がん研究センター がん対策情報センター
- テーマの選定
- 院内スタッフ間の打ち合わせ
- 事前配布資料 送付

開催  
1週間前

当日

## 第1回 ピアレビュー

## 事前準備

訪問メンバーに施設の情報、  
テーマ別の困りごと・課題を  
事前提供する。（1週間前に  
資料を配信）



レビューアーは提供された資料  
に基づき、当日の確認事項等を  
事前に把握する

# <第1回 ピアレビューの目標>

## 01

困りごとの具体的な解決策を  
ともに考え、より良い医療を  
提供できるようにするための  
支援的なレビューをめざす。

## 02

今回えられたピアレビューに  
かかわる課題を参加施設で  
共有し、第2回目以降の  
ピアレビューに反映させる。

## エリアグループリーダー施設



施設B



施設C



施設D



施設E



施設F

- 施設より、医師、薬剤師、看護師が複数名参加
- 共通テーマ、個別テーマに関し、施設毎に検討
- 各施設より1名レビューアーを選出

**調査員**



各施設から選出された、医師1名、看護師2名、薬剤師2名のレビューアーが、施設の意見をもちより、最終とりまとめと発表



**実施対象施設**



Group A  
神奈川  
がんC

# 神奈川県がん診療連携協議会 がん薬物療法部会ピアレビュー テーマ

全てのピアレビューにおいて、  
取り上げるテーマ

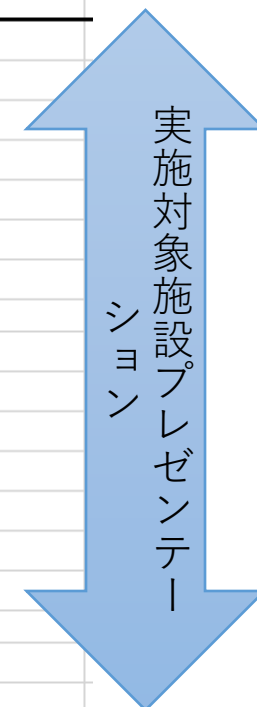
## <テーマ>

施設毎に、取り上げるテーマ

- ・ **共通テーマ：レジメン管理**

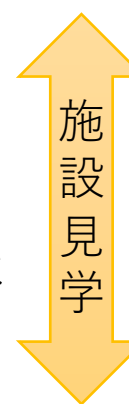
- ・ **個別テーマ：受け手施設が1～2テーマ提示**

time schedule			
導入	13:00	施設長挨拶 参加施設別参加者・レビューアーの選定 スケジュール概要とレビュー方法の共有	
	13:10	施設紹介 神奈川県立がんセンター 施設概要。がん薬物療法提供体制の紹介	
	共通テーマ	13:15	当院におけるレジメン管理の実際と困りごと
		13:23	質疑応答（全体）
個別テーマ①	13:35	個別テーマ① 経口抗がん剤鑑査について、実情と困りごと	
	13:43	質疑応答（全体）	
個別テーマ②	13:55	個別テーマ② 外来化学療法を受ける患者への部門横断的支援、現状と課題	
	14:05	質疑応答（全体）	
	14:20		
休憩（適宜）			
施設毎の discussion / 外来エリア見		各施設に分かれ、施設毎にテーマに対し、問題・課題・良い取り組み等を抽出。 外来化学療法室・外来エリア見学：最初にレビューアー5名のみ施設見学。他の方はdiscussion 開始	
	15:00		
レビューアーのフィードバック	15:15	レビューアー5名が各施設の意見をとりまとめ。この間に他の皆さまは施設見学 前半 グループB+F(8名)、後半 グループC+D+E(6名)	
		休憩（適宜）	
総合討論	15:20	レビューアーからのフィードバック、意見交換	
	15:40	総合討論 ピアレビュー振り返り・今後のピアレビューの流れについて（質疑応答）	
閉会	15:55	総括	
	16:05	閉会の挨拶 事務連絡等	



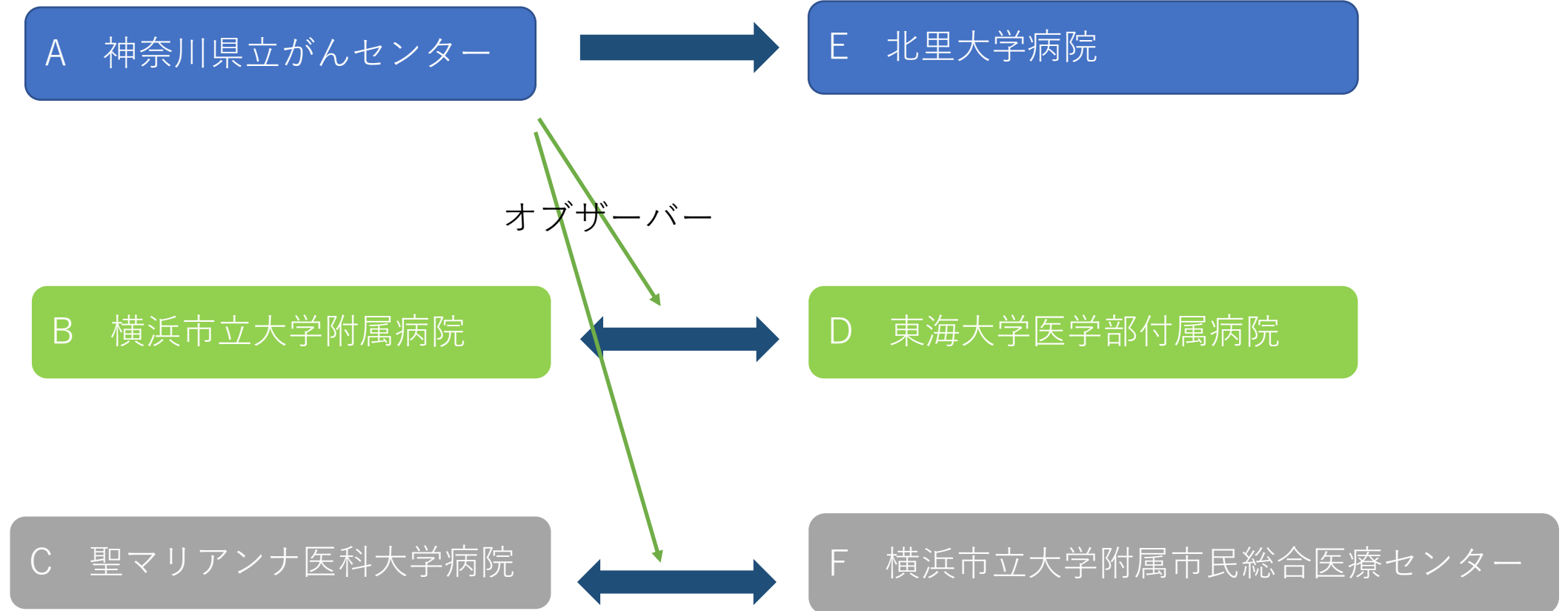
施設別discussion

レビューアーによる意見統括



# 総合討論での決定事項

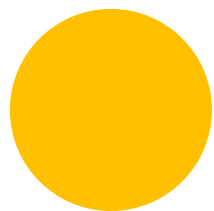
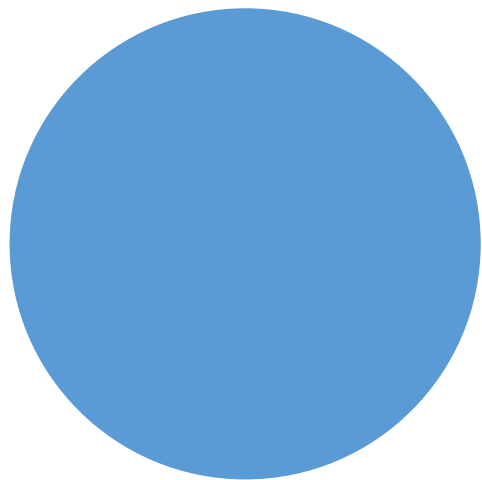
今後は、リーダー2施設間でピアレビューを行う





# 事後アンケート 自由記載より抜粋

- ピアレビューをどのように行うのか、まだ明確ではありませんが、理解できたような気がします。
- 準備に時間を要する様なので、今後のタイムスケジュールを含めて検討していきたいと思います。
- 各施設毎の取り組みを知ることができた。自施設の状況を考える機会となり大変よかったと思います。
- 今後、ピアレビューを各施設で拡げて欲しい。



# 第2回以降

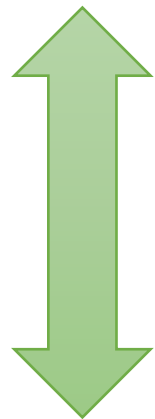
どのように行っているの  
どのように参加しているか  
現場の感想

11月

第1回ピアレビュー

2日後

議事録送付



各施設は、施設管理者へピアレビューを報告

3週間後

第1回ピアレビュー 事後アンケート集計結果送付

1か月後

グループリーダー施設 施設長宛に、  
自施設でのピアレビュー開催協力の依頼状を郵送

差出人： <神奈川県がん診療連携協議会会長、薬物療法部会長>  
<神奈川県健康医療局がん・疾病対策課長>

施設間でピアレビュー日程調整

2019年

1月

第2回 ピアレビュー

受け手施設： 横浜市立大学附属病院

レビューアー施設： 東海大学病院

オブザーバー参加  
 \* 神奈川県立がんセンター  
 \*\* 受け手リーダー施設 エリア内の他の施設

2月

第3回 ピアレビュー

受け手施設： 横浜市立大学市民総合医療センター \*

レビューアー施設： 聖マリアンナ医科大学附属病院

3月

第4回 ピアレビュー

受け手施設： 北里大学病院

レビューアー施設： 神奈川県立がんセンター

第5回 ピアレビュー

受け手施設： 東海大学病院 \*

レビューアー施設： 横浜市立大学附属病院

4月

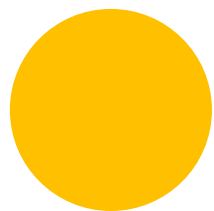
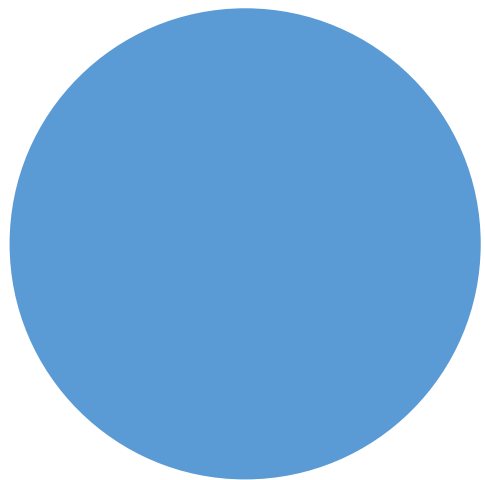
第6回 ピアレビュー

受け手施設： 聖マリアンナ医科大学附属病院 \*

レビューアー施設： 横浜市立大学市民総合医療センター

# 第2回以降 ピアレビュー開催概要

- 3時間で
  - ①施設側挨拶
  - ②施設概要
  - ③共通テーマ、個別テーマプレゼンテーションと質疑応答
  - ④施設見学
  - ⑤レビューアー のとりまとめ
  - ⑥フィードバックと総合討論
- 病院幹部は①～③、⑥に出席



# 第2回以降

現場の感想

<ピアレビューを終了した  
施設へのアンケート調査>

## アンケート内容

- 1.開催準備で大変であったこと
- 2.ピアレビュー後に変化した点
- 3.当部会への要望

# 開催準備で大変であったこと

1. 日程調整、特に病院幹部の予定を合わせることが大変。
2. 院内外への連絡。事務方や秘書が行なってくれる施設以外は、現場のスタッフに負担が集中するのは避けられない。
3. テーマの確認やスケジュールの立案、当日の詳細な動き等のすり合わせをする時間の確保が難しく、開催日前の数日は大変だった。
4. 日々の業務が多忙な中で資料のまとめ、作成に時間を要した
5. グループ内施設間で連絡を取り合える方法があればよかった。

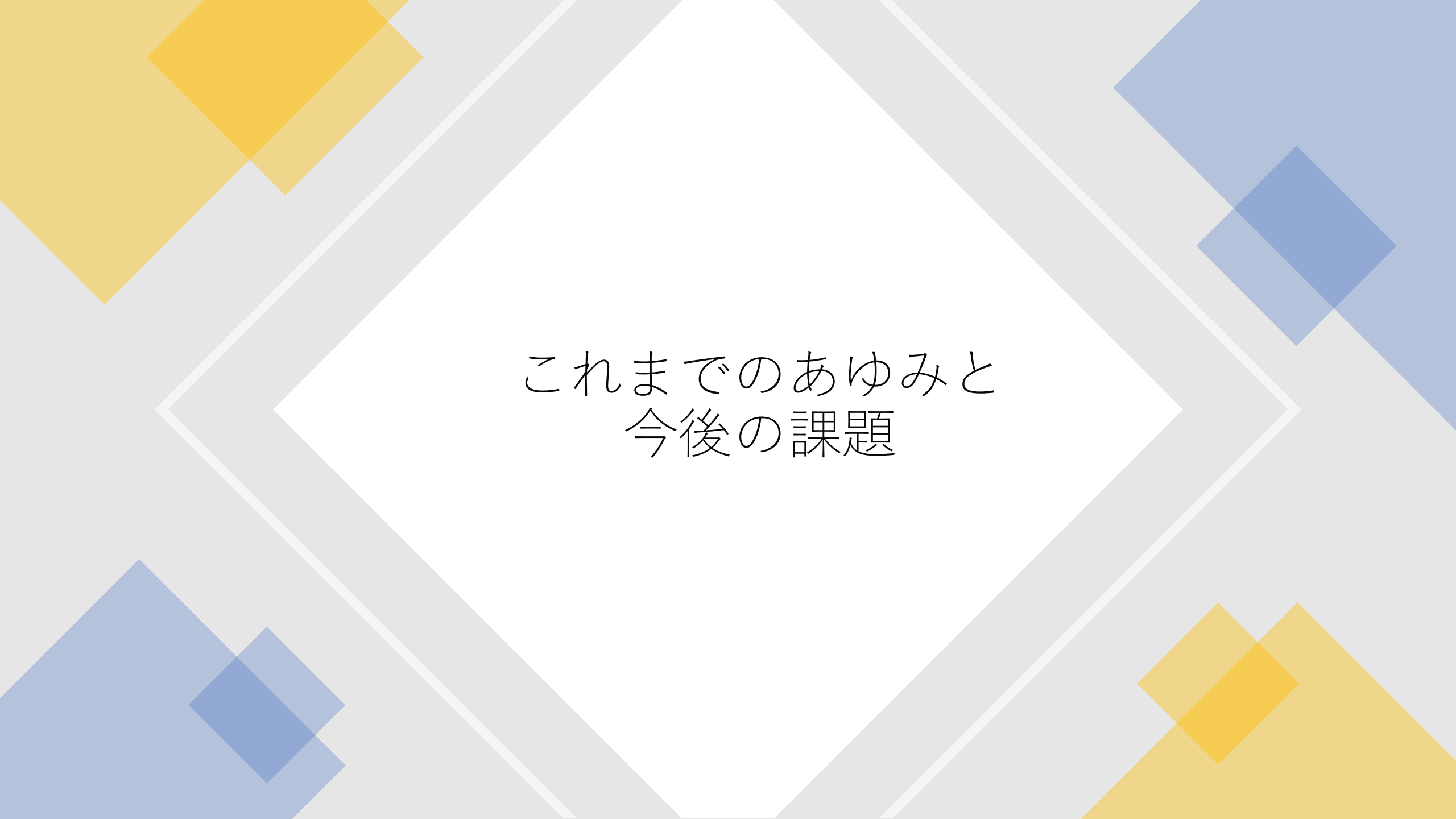


# ピアレビュー後に変化した点

1. 薬剤管理の簡素化や内服抗がん剤院外処方の監査など安全性の面で改善した。
2. 具体的に提案された対策の取り組みを開始、あるいは、実現化を検討している。
3. 他院の良いシステムを当院でも導入すべきと考え、見直しを開始した。
4. 高評価を部署のスタッフにフィードバックし、モチベーションの維持や向上につながった。
5. ピアレビューでいただいた意見を病院幹部に供覧した。第三者の視点に立った意見の持つ力は大きく、上層部への浸透の仕方が違ったように感じる。

# エリア内でのピアレビュー開催に向け、当部会への要望

1. 当日用いるパワーポイントや、タイムスケジュールなど、ある程度統一のフォーマットを配布してはどうか。
2. テンプレート的なものがあれば、各病院間の負担は大分減る。
3. 自立して準備ができるような研修をしてほしい
4. 他エリアのピアレビュー実施状況をしりたい

The background features a light gray diamond shape centered on a white background. The diamond is formed by two overlapping gray lines. In the four corners, there are overlapping geometric shapes: yellow diamonds in the top-left and bottom-right, and blue diamonds in the top-right and bottom-left. The text is centered within the white diamond.

これまでのあゆみと  
今後の課題

2018年

8月

第1回 ピアレビュー研修会

11月

第1回 ピアレビュー

2019年

4月

第6回 ピアレビュー

2019年度第1回 神奈川県がん診療連携協議会がん薬物療法部会

- 6施設の経験を参加全施設で共有 ⇨ピアレビュー結果報告
- Group work: 今後のピアレビューの方向性の検討  
⇨エリアごとに検討し、結果を発表

7月

第2回 ピアレビュー研修会



グループリーダー6施設  
がピアレビューを経験

## 第2回 ピアレビュー研修

23施設 計68名が参加  
約2時間で以下の内容の研修を行った

### 講義

- 国の診療の質の改善の取り組みの最近の動向
- 第1回がん薬物療法のピアレビューの紹介。
- レビューアー終了施設のアンケート結果紹介

### グループワーク① (職種別)

ピアレビュー研修のテーマについて検

### グループワーク① (施設毎)

グループ内の各医療機関ごと。自施設のレビューテーマや計画を作成。

### 総合発表

グループ内施設間で発表。その後、各グループより代表1施設がそれぞれ発表

第2段階

グループエリア内でのピアレビュー

8月

グループA

グループB

グループC

グループD

グループE

グループF

第1回  
受け手施設1  
レビューア4

第一段階で  
グループ内部  
施設のがオブ  
ザーバー参加

第一段階で  
グループ内全  
施設がオブ  
ザーバー参加

第1回  
受け手施設1  
レビューア4

10月

11月

<相互訪問>

第1回

<相互訪問>  
第2回・3回

第2回

第4回・5回

2019年度第2回 神奈川県がん診療連携協議会がん薬物療法部会（活動状況の共有と検討）

12月

1月～2月に計画

1月～2月に計画

第3回

終了

2月で終了

2月～開始

# 今後の課題

- 参加施設の負担軽減

  - マニユアルの活用

  - テンプレート配布（依頼書、プレゼンテーション等）

  - 事務局による事務連絡の補助業務

- 質の担保と継続性

  - アンケート調査の実施

  - がん薬物療法部会での活動報告による情報共有

⇒ “やってよかった” を共有